

東日本大震災 石川民医連支援ニュース

No.31 2011年4月26日

石川民医連事務局

TEL 076-253-1458

やすらぎホームで報告会

第6次隊として4/17～23、宮城野の里の避難所「まるふく」で支援を行ってきたやすらぎホームの今宮さんの報告会が26日お昼にやすらぎホーム1階の広場で行われ、職員・入居者さん約30名が集まりました。

宮城野の里



『まるふく』とは

宮城野の里につくられた介護を必要とする高齢者のための避難所です。学校や公民館に作られた避難所での生活も限界があります。また、予算の関係で避難所の閉鎖も増えてきているのが現状です。そんな中で、介護を必要としている方たちが中心に集まり、また全国からやってきた支援者によって成り立っている避難所です。

まるふくに集まる方たちは、家に帰れない方たちです。具体的には、津波が自宅の2Fまできて全没してしまった方、地震の影響で自宅が傾いたり、津波がきて1F部分が流され2F部分は何とかまぬがれたものの危険で自宅に住めない方たちなどです。

利用者は認知症があつたり持病があつたりしましたが、自立している方がほとんどで、会話

も通じ皆暖かい方ばかりでした。中にはご夫婦で避難されている方もおり、避難者17名のうち3組がご夫婦でした。ケアハウスの食堂の空間を借りて、ベッドや毛布・衣類を支援物資などを利用してそれぞれ生活しています。



柳沢先生のレポート

25日(月)

午前 中村、津田は多賀城体育館へ、柳沢は当直明けで午前フリー。昼は雷雨となる。新築の坂病院は4/7の余震で外壁がひび割れ、病室に雨漏りし10床近くが使えなくなっていると報告があった。松田は文化センターへ。

午後 柳沢、中村、津田は体育館へ。松田はフリー。谷口CWは宮城野へ行ったきり。体育館では簡単な診療、見回り、管理事務者との対応、足浴、爪切りなど。若い方で震災以来、外出できなくなった方、アルツハイマーの高齢者で食欲をなくしている方などあり、来館した松浦Drらメンタルチームに申し送りする。介護の問題が非常に気になる。震災の影響で

新たに介護状態になる方、避難所であるがゆえに介護が必要になる方(慣れた自宅なら自立しているのに)10分と制限されたシャワー時間ではとても入浴できない高齢者のことなどたくさん問題があります。



救援隊募集

5月14日(土)～18日(水)の第9次隊の1名募集しています。